

第2回 住環境・コミュニティ部会 主な意見

●まちのテーマ・あり方について

- ・この地域の魅力はいろんな課題を持った人も包摂する伴走型のみんなが支え合うまち。このまちの課題を理解し、勉強し、共存しながら多様性を受け入れるまちにしたい。
- ・このまちを作っていくときの大きなテーマは「共存」と「交流」
- ・このまちに住み続けていくにあたり、地域に誇りを持つことが大切だと思う。そのためにも、地域でなにか活動をすべきだと思う。
- ・まずは、建替え待ち団地で、空き家が増えて、寂しい思いをしている高齢者に向けた取組みをするとよいと思う。
- ・地域に子どもを連れて集まれる場所が不足。みんなでバーベキューをやろうと思っても、それをやる場所すら地域にないのが現状。10 年先に住みたいと「選ばれるようなまち」とするには、そのよう場が地域のなかに必要。建替えに先立ち、まずは集まれる場所づくりが必要。
- ・青少年センターには、地域以外の子どももたくさん来る。この変化を生かしていけたら。
- ・住宅エリア・教育エリアなどゾーニングしていくことで、人の流れも作り出せると思う。
- ・信太山駅に西改札口をつくるなど、池上のまちづくりも応援もしていきたい。

●まちづくりの検討の進め方について

- ・地域に誇りを持てること、住民の意思を第一に、個々の声や意見を集約し反映することが必要。
- ・団地の建替えはまちの未来を考えること。もっと若い人にも議論に参加してもらいたい。
- ・建替えは中長期的な話で、時間がかかることでもある。一方で、目の前の地域課題もあり、目の前で着実にやっていくべきことと、(将来の話で) 議論を分けていくべきだと思う。

●市営住宅の建替・改修について

- ・建替え待ちの団地では入居者募集を止めており、住民が減って、高齢化や所得層の偏在が深刻。子どもが戻って近くで暮らせるような環境を作るなど、なにか手を打たなければ厳しい。住民の考えだけでは、動かせない部分も大きいため、行政も考え方も示してほしい。
- ・市営住宅を活用しようにも、条例などの壁がありそれを突破していく工夫が必要だと思う。
- ・建替えを一刻も早く進められるように、みんなで移転することはできないだろうか。
- ・建替えの時はコミュニティごと移転できるようにしてもらいたい。